

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS × KANDA

ゴール9 「産業と技術革新の基盤をつくろう」

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



「みんなが幸せで持続的に豊かな生活を送る」ためには、産業の発展が欠かせません。また、産業の発展には、技術革新が必要不可欠です。現代では、スマートフォンや自動運転の車など、身近なところに

技術革新による産物が溢れています。

このような産業の発展、技術革新の支えとなっているのが、道路や交通、電気、水道、インターネットなどの「インフラ」です。これらの基盤が整備されていることがSDGs目標9達成の前提条件と言えます。

これらのインフラは、発展途上国においては未整備であることも少なくありません。実際に電力供給を受けることができない人は、約11億人いるとされ、インターネットにアクセスできない人は、世界人口の約6割に上ると言われています。途上国において、電気や水道などが整備されることで、食事を作る、水を汲むなどといった生きるための行動が効率的に行えるようになり、その時間で教育や技術を学ぶ時間を確保でき、産業の発展や技術革新にも繋がります。また、インターネットの普及により、インターネットを活用した新たな産業と技術革新の基盤をつくることができます。

ゴール9 私たちにできること

インフラの整備や産業の発展、技術革新と言われても、個人でできることはあまりないのでは？と思われる方も多いかもしれません。確かに一個人の力で解決できるような課題ではありませんが、まずは世界のインフラ整備の状況を知ることが大きな一歩となります。

途上国の置かれた状況を把握することで、今自分に何ができるのかを考え、行動するきっかけになります。寄付や募金などもその行動の一つです。正しく現状を理解し、小さなことから行動に移すことが未来の発展に繋がります。

ゴール9 苅田町の取り組み

苅田町の水道事業では、「苅田町水道事業ビジョン」に基づき、安定給水を維持する「強靱」な水道を実現するため、老朽管の更新など優先順位の高い施策を実施しつつ、できるだけ長寿命化を図り、適切な時期に更新、耐震化対策を実施しています。これにより、災害などの逆境に強い水道を構築し、有事の際にも町民のライフラインを確保することに繋がります。

news

北九州都市圏域が『脱炭素先行地域(第1回)』に選定されました！

苅田町を含む18市町で構成する北九州都市圏域が、環境省から「脱炭素先行地域(第1回)」に選定されました。全国79件の計画提案のうち、26件が選定されており、福岡県内では唯一の選定となりました。脱炭素先行地域とは、地域の再生可能エネルギーを最大限に活用して、2030年までに民生部門の電力消費に伴うCO2排出実質ゼロを実現し、運輸部門等その他の温室効果ガス排出削減についても国の2030年度目標と整合する削減を地域特性に応じて実現する地域です。苅田町でも、再生可能エネルギーの最大限の導入を始めとした、脱炭素実現のための取り組みを更に推進していきます。

北九州都市圏域構成自治体

北九州市、苅田町、直方市、行橋市、豊前市、中間市、宮若市、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、香春町、みやこ町、吉富町、上毛町、築上町